

URL <http://www.sapporo-shaho.jp/>

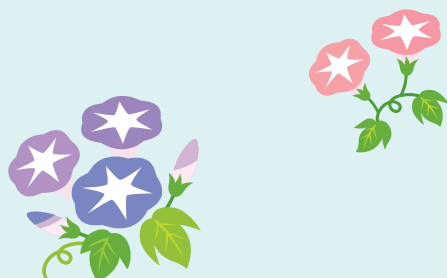
No.29
2013.7

ポラリス

札幌社会保険総合病院 院外広報誌



看護の日 大麻高校吹奏楽部の皆さん
(当院エントランスホールにて)



- ◆ICU再稼働しました
- ◆医療の現場から① ②
- ◆看護の日、イベントに参加して
- ◆こんにちは 医療連携・相談室です
- ◆インフォメーション
- ◆外来担当医師一覧



ICU再稼働しました

経営企画室

北村 大輔



平成25年6月1日（土）、5階東病棟の3階東病棟への移転を中心とする病棟再編を行いました。今回の再編は、休床中であった3階東病棟のICUを活用すること、院内に活用できるスペースを生み出すこと等を目的として実施しています。

今回の再編に至る道筋を簡単にご紹介すると、「ICU・3階東病棟活用WG」を立ち上げたのが昨年11月26日。そこで、再編案がまとめられたのが1月末。その後WGは「3階東病棟再稼働WG」と名を変え2月20日に再立ち上げ。移転先である3階東病棟の片付けや整備に着手したのが4月上旬。トイレやエアコンの整備工事が完了したのが5月下旬。清掃完了が5月末、と足掛け6か月以上の時間を要しています。

引っ越し当日は朝から、病棟スタッフはもちろんのこと、ME部や事務局の職員も交え、病棟科長の指示のもと速やかに行われました。入院中の方には引っ越しに伴ってご不便をおかけしましたが、患者の方だけではなく、付き添われていたご家族にもご協力いただき無事に引っ越しを完了することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

その結果として、3階東病棟のICUは平成21年4月以来約4年ぶりに再稼働を果たしました。休床前のICUは3床で運用していましたが、1床増床し4床での運用となったほか、ベッド間を布カーテンからアコーディオンカーテンへ取り替え、プライバシーに配慮し、なおかつパステルカラーのカーテンを採用したことで部屋全体が明るい印象になりました。

もうひとつの目的であった院内に活用スペースを生むことについては、今回の再編で休病棟となった5階東病棟に会議室や物品庫を新設することができました。病院の最上階に設けられた会議室は見晴らしがよく開放的で、行き詰った会議を進展させる効果が期待されます。また、地下からME部が5階へ移設することができたことで、地下にも活用スペースが生まれました。こちらも今後、外来環境の整備で活用することが予定されています。

当院の建物は築20年以上を経過し、日一日と老朽化が進んでおりますがご利用いただく方に少しでも快適にお過ごしいただけるよう、今回の病棟再編のように工夫を凝らしていきたいと考えておりますので病院設備に対する忌憚のないご意見をぜひお寄せください。



医療の 現場から 1

慢性骨髄性白血病 (CML) 治療の進歩

血液内科 安達正晃



血液疾患の治療は、最近大きく発展しています。なかでもCMLに対する治療は飛躍的に進歩して、まったく治療方針が変わってしまいました。なんと1日1回から2回の飲み薬で、かなりの患者さんがほぼ治癒のような状態になり、一部の患者さんは、薬自体が不要になるほど安定した病状になることが判ってきています。10年くらい前までは、急性転化しないようにと必死の覚悟で、同種骨髄移植をしていました。

ご存知、グリベック（イマチニブ）が国内で使用できるようになったのは2001年。この薬剤は、タンパク質リン酸化酵素ablキナーゼを阻害するものです。

CMLにおいて特異的に認められるフィラデルフィア染色体t(9;22)の結果として機能異常に陥ったablキナーゼ（BCR-ABLの融合蛋白になっている）が、この薬で阻害されるだけで、どんどん増殖していた白血病細胞が消滅してしまう。なんと、細胞内のシグナルを一か所のみブロックするだけで、白血病を直すことができるとは大きな驚きでした。その後、さらに治療は進歩しています。タシグナ（ニロチニブ）が開発され（グリベックよりもさらに特異的にablキナーゼを阻害する）、スプリセル（ダサチニブ）が開発（ablキナーゼ以外に多くのキナーゼをブロードに阻害する）されました。この両者は、グリベックよりもさ

らに有効性が高いことが判明しており、現在では、この両者のいずれかをを用いた治療から開始することが多くなりました。さらに海外ではボスチニブというabl/srcキナーゼ特異的阻害剤も使用できるようになってきました。

この薬剤は、上記した3つの薬剤に耐性になった症例にも効くことが知られており、CMLは、ますます飲み薬でなんとかなりそうです。薬剤濃度やBCR-ABL mRNAを測定することによって治療効果も容易に予想できるようになり、予後や薬剤中止の可能性まで予測できるようになってきました。

このような画期的治療の進歩の始まりは、筆者がフィラデルフィアに留学中にお会いできたP. Nowell教授（ペンシルバニア大学の病理の教授でしたが数年前に他界されました）の大発見に遡ります。フィラデルフィア染色体は、あまりに有名なので、はるか昔から知られていたかと思われがちですが、この発見は1960年です。わずか50年で、発見から治療までこんなに進歩するものだと、感慨深いものがあります。このように分子生物学を駆使した応用で様々な分野において治療は飛躍的進歩を続けています。我々医療従事者自身もスピード感をもって最新の知識を得ることは勿論、あらゆる面で日々進歩せねばならないと反省する毎日です。

医療の 現場から 2

乳 腺 外 科

外 科 高 橋 学



当院外科では専門外来として乳腺外来を外科に設置し、診療を実施しています。乳腺疾患の診療の中でも、乳がんの早期発見および診断を目的の一つとしております。毎年乳がんになる人は増加しており、現在全国では年間5万人以上の方が乳がんにかかっています。乳がん罹患する年齢はこれまで40歳代の方が多いとされていましたが、最近では閉経後の乳がんが増加しているというデータもあります。

乳がん検診は、以前は視触診による検診でしたが、それでは乳癌の死亡者数を減らすという効果は得られませんでした。これに対してマンモグラフィ検診は、しこりとして触れる前の早期乳がんを発見できる可能性があり、現在では40歳以上の女性に対してマンモグラフィ検診を行うことにより死亡の危険性を減らすことが証明されています。欧米ではマンモグラフィ検診受診率が60～80%に達し、乳がん死亡する人は減少しています。しかし、日本での

受診率は20%程度で、乳がん死亡する人は増え続けています。多くの人がマンモグラフィ検診を受けるよう望まれています。

視触診、マンモグラフィによる検診で異常があった場合、精密検査を受ける事になります。精密検査を受ける人の割合はおおよそ10人に1人で、精密検査を受けた人の約50人に1人が乳がんとして診断されています。精密検査は、まず2方向でのマンモグラフィ撮影、超音波検査が行われます。その後必要な場合には、CT、MRI、細胞診、組織診などが行われます。

乳癌をなるべく早い時期に発見することによって、より小さな手術ですむことが多く、また、手術後の薬による治療も少なくなり、一番重要な生存率の向上につながります。乳がん検診で精密検査が必要と言われた、あるいは、乳房にしこりがあるなど少しでも気になることありましたら、乳がん検診を受診して下さい。

看護の日 イベントに参加して

腎・透析センター

田村 文恵



毎年ナイチンゲールの生誕日を中心に看護の日のイベントが日本国内で行われています。当院では5月17日に看護の日のイベントが行われました。

1日看護体験では高校生が、車いすやストレッチャーの移送を行いました。初めて車いすを操作する高校生たちは、様々な感想を持っているようでした。

そこでひとつ気づいたことは、移送される患者役の高校生が速度について話しているのを聞いた時に、「自分は忙しさや慣れによって、かなり車いすをおす速度が速い」ということでした（汗）。患者様に合わせた速度でなければ…と反省。

それから、最近は男子も看護師を目指す子が多いんだなあと、今回の学生をみて感じました。男子学生のひとりには「力仕事があるのでぜひ僕が引き受けて役に立ちたい」と熱く話していました。

看護体験に参加した学生たちは、看護師になることを目指して今は進路も決まり受験勉強に励んでいる子ばかりなので、将来は患者の立場に立って考えられる、思いやりのある看護師になってほしいと思います。そして就職先が当院であることを心から願っています。

エントランスホールで行われた大麻高校吹奏楽の演奏も素晴らしく入院患者様も聞き入っていました。

今後も看護の日には多くの高校生が看護体験して看護師の仕事って素晴らしいと思ってくれますように！！



看護体験を終えて



吹奏楽部演奏



バザーの様子

こんにちは 医療連携・相談室です

日頃、連携をさせて頂いている
先生方を紹介します。

医療法人社団 新札幌駅前内科循環器

〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目3-40
(セキボウビル3階)

電話 011-801-1000 FAX 011-801-1001

ホームページ: <http://www.ssapnaijun.jp/>

今回は、新札幌駅前内科循環器の院長 増田 敦先生にお話を伺いました。クリニックは新札幌駅バスターミナル出口のすぐそばにあります。JRで札幌から千歳に向かうと新札幌駅すぐ手前で左手に見えます。青鮮市場向かいにあたるビルの3階です。2009年9月に開院して、高血圧、心臓病などの循環器疾患、糖尿病や脂質代謝異常症など生活習慣病の診療と外来血液透析を行っています。スタッフは院長の他に看護師4名、技師3名、事務3名です。

●クリニックの特徴について教えてください

地域のかかりつけクリニックとして、小回りが利く診療が必要と考えています。総合病院と異なり重装備の検査はありませんが、レントゲン、心電図、血液尿検査などの他に、心エコー、腹部エコー、負荷心電図、ホルター心電図などを必要に応じて速やかに行うことができます。電子カルテを活用することで、検査結果だけでなく病気に関する説明をわかりやすく行っています。パソコンは文字や図を拡大できるので、高齢の方、特に難聴の方への文字説明には威力を発揮しています。

●医療連携に対するお考えをお聞かせください

自分が医師になりたてのとき指導医にこう言われました。「自分個人が良い医師であるのは当然。最大限勉強しろ。その上で人脈が大切。専門外の分野、自分の力を越えた診療が必要な時に、依頼したらすぐに受け入れてもらえるのが本当の医師の力だ」と。入院ベッドを持たないクリニックにとって、医療連携はもっとも大切なことです。重症な心不全や肺炎などでの入院、カテーテル治療を要する冠動脈疾患、透析患者さまの入院検査・治療などを中心にすべての診療科で、札幌社会保険総合病院には非常にお世話になっております。



▲院長 増田 敦先生



▲受付から診察室へ



▲新札幌バスターミナル出口のすぐそばです



インフォメーション

研修会のお知らせ

平成25年度 第1回 感染管理研修会

主催：札幌社会保険総合病院 感染管理部

日時：平成25年8月1日（木） 17：30～

場所：札幌社会保険総合病院 2階 講義室



講演：北海道小児科医会会長 富樫武弘先生による
「VPD（ワクチンで予防可能な疾患）について」（仮題）
参加申し込み不要ですので直接お越しください。

当院では、管理栄養士を対象に勉強会を開催しています。

平成25年度は、「地域連携～嚥下調整食と低栄養患者食」をテーマとし、下記日程で開催を予定しております。どなたでも自由にご参加いただけます。事前のお申込みは不要です。

当日会場（札幌社会保険総合病院 2階講義室）へ直接お越しください。

開催日	タイトル
第5回 H25年10月9日(水)	「腸管メンテナンスによる排便コントロール」
第6回 H26年3月16日(水)	未定



「地域連携～嚥下調整食と低栄養患者食」

病棟での嚥下障害者の栄養管理を行う上で、管理栄養士（栄養士）の実践的な知識と技術訓練を習得することは今後必要となります。また、病院や施設により食種の名称や形態、粘度等が異なっています。市販食品においても形態の表示等を統一する動きがあります。そこで、患者の情報交換（栄養状態や身体状態等）を行う際に患者に適した形態や機能の把握を行えるとより早く、より良い栄養管理につなげていけると考えます。

今年度は、皆さんの施設での状況をまとめ、嚥下調整食の表示統一や技術向上に係る活動を行っていきたいと考えています。

新ドクター 紹介

産婦人科医員

浅野 拓也



7月から3ヶ月間の勤務ですが
よろしくお願いいたします。

イベント 紹介

当院主催、毎年恒例の「七夕の夕べ」を今年も8月6日（火）、午後5時から開催いたします（入場無料）。

第1部は当院ではすっかりお馴染みになった大竹良明さんが率いる「B&Bウクレレ教室」のみなさんによる陽気なハワイアンの演奏と歌を、第2部は堀合幸江さん主宰「ナー・プア・オ・カウアイア」のみなさんの素敵なフラダンスをお楽しみいただけます。

また、エントランスホールには8月1～7日まで、笹の木と短冊を用意しておりますので願い事を書きに気軽にお立ち寄りください。

第9回

七夕の夕べ

日時：平成25年8月6日（火）

17:00～18:00

場所：札幌社会保険総合病院
1階エントランスホール

第1部 ウクレレの演奏と歌

第2部 フラダンス



遊びにきてください！

主催：札幌社会保険総合病院

編集 後記

夏の日盛りに木陰の恋しい季節となりました。

海に山に行楽地は賑わいを呈していますね。

山と言えば富士山が世界遺産に指定され皆様も歓喜されたことでしょう。

当院では6月に電子カルテの更新や病院内の一部引っ越し作業などがあり、多事多忙な日々でしたが、今は落ち着きを取り戻しているところです。

8月6日には毎年恒例の「七夕の夕べ」を予定しています。今年もまた色々な催しを計画しておりますので楽しみにお待ちください。

長期予報ではこの夏は暑いとのこと、夏バテにお気をつけ下さい。（根上記）

編集委員 長瀬・篠原・嶋宮・中野渡・佐々木・伴・奥田
矢野・北村・小竹・早川・根上・武藤

札幌社会保険総合病院 外来担当医師一覧

【受付時間】 午前 8:00～11:00 午後 12:30～15:00

【面会時間】 午後 13:00～19:30

※土曜、日曜、祝日は休診

平成25年 7月16日現在

診療科			曜日	月	火	水	木	金	備 考
総 合 診 療 科			午前	吉田/安達/ 渡邊	安達/渡邊/ 派遣医	安達 渡邊	安達/渡邊/ 木脇	安達 木脇	※連名は交代制
			午後(再来予約)	安達/渡邊	渡邊	安達/渡邊	渡邊	安達/渡邊	
内 科	糖 尿 病	午前	増田	平井 鴨嶋	平井 (増田)	増田	増田		
		午後				平井			
	腎 臓 病	午前	豊山		江端		山田		
		午後	豊山		江端		山田		
	呼 吸 器 科	午前	相坂	横尾	佐賀	相坂	佐賀		
		午後							
	消 化 器 科	午前	高木(智) 今井	藤澤	今井/吉田 吉田	高木(智)	藤澤		
		午後	藤井 内藤	高木(寛) 中野		藤井	藤井(ペースメーカー) 中原		
	循 環 器 科	午後			高木(寛) 中原	内藤	中野		
		リウマチ科	午前	渡邊			野口		
午後									
血 液 科	午後		安達		安達				
小 児 科		午前	東館	日下	交代制	伊藤	東館	※午後的一般外来は 予約・紹介優先 ※専門外来は 完全予約制	
		午後	交代制		東館	日下	交代制		
			日下 (川崎病外来)	予約注射 (予約制) 予防接種 (予約制)	乳児健診(1歳まで) 手代木(精神衛生 相談、第1・3週) 伊藤(神経外来、 第2・4週)	東館 (心臓外来)	伊藤 (神経外来)		
外 科	午前	(一 般)	高橋(学)	中川	松岡	高橋(秀)	谷	※ストーマ外来、 リンパ浮腫外来は 予約制	
		(乳 腺)	高橋(学)	高橋(学)		高橋(秀)			
		(甲状腺)	高橋(学)	高橋(学)		高橋(秀)	佐々木 佐々木		
		(小児外科)					谷		
		(肛 門)							
		(ストーマ)				予約制			
	午後	(一 般)	高橋(学)		松岡	高橋(秀)	谷		
		(乳 腺)	高橋(学)			高橋(秀)			
		(甲状腺)	高橋(学)	佐々木		高橋(秀)			
		(肛 門)					谷		
		(ストーマ)	予約制						
(リンパ)	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制			
整 形 外 科		午前	黒部	黒部	黒部	黒部	黒部		
		午後			(手術)		(手術)		
皮 膚 科		午前	松村 安藤	松村 安藤	松村 安藤	松村 安藤	松村 安藤		
		午後	松村	松村	安藤	(手術)	安藤		
泌 尿 器 科		午前	三橋 松田	三橋 松田	三橋 松田	三橋 松田	三橋 松田	※混雑時 3 診体制	
		午後	三橋 松田	(手術)	三橋 松田	(手術)	三橋 松田		
			松田		松田				
産 婦 人 科		午前	(婦人科)	足立	山本	浅野	新患のみ	※専門外来は予約制 ※金曜日婦人科交代制 第1・3・5足立、第2・4浅野 ※水曜受付14時～15時 産後健診12:30～13:30	
			(産科・婦人科)	浅野	足立	浅野	足立		山本
		午後	(婦人科)	(手術)	山本	新患のみ	(手術)		新患のみ
			(産科・婦人科)		足立	浅野			山本
眼 科		午後(専門外来)	母乳外来	助産師外来	産後健診	母乳外来	助産師外来		
		午前	廣瀬(予約制)	廣瀬 横山	廣瀬 横山	廣瀬 横山	廣瀬 横山	※ 3 才児健診は 予約制 ※水曜日の受付時間 は午前10時まで	
耳 鼻 咽 喉 科	午後(予約制)	(手術/予約検査)	予約検査	(手術)	予約検査	(手術)			
		午後	栗原 川原 寺田	(手術)	栗原 川原 寺田	栗原 川原 寺田			
		午後	(手術)	(手術)	栗原 寺田	川原 寺田		予約検査・処置	
	放射線診断科	午前	吉川	吉川	吉川	吉川		(検査)	
		午後	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川		

【予約及び予約変更受付】 土・日・祝日を除く 午後14:00～17:00 (小児科のみは時間内で予約も変更も可能)

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。

※各科の午後(手術)(検査)(乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

※泌尿器科は混雑した場合、3診にて診察を行います。



発行責任者：佐々木 文章

発行：〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号 札幌社会保険総合病院